

21日夕・福岡県との『引継式』 きょう22日・下関市内を行進

2014年国民平和大行進は、21日の夕方5時30分から『引継式』が行われ、長崎⇒広島、億繩⇒広島、宮崎⇒広島の3つのコースの行進が福岡県内で合流し、山口県入りしました。

100名に近い参加者での『引継式』では、福岡県原水協会長・小沢和夫さん(元衆議院議員)が「核兵器のない世界にむけて、世界では大きな流れができています。この流れを支えるのは草の根の運動。安倍内閣の『集団的自衛権』行使容認の暴走に安倍首相の地元下関でも強い批判が上がっていると聞いて意を強くしています。これまで歩き続けてきた多くのみなさんの思いとともに、山口県に引き継ぎたい」と連帯の挨拶をしました。

21日に40数団体160名で門司を行進した行進団を代表して、はだ千賀子代表(北九州市議)が、「みんなの思いを込めた行進をしてきました。山口県にしっかり引き継ぎます」と引き継ぎの挨拶をしました。

つづいて、2014年国民平和大行進実行委員長の藤永佳久実行委員長(県労連議長)が、「みなさんの思いを込めて歩きとおしてきた行進旗とみなさんの思いをしっかりと引き継ぐ。マーシャル諸島の国々が核保有9カ国を人道に反する罪で国際司法裁判所に提訴する画期的な出来事があった。核兵器廃絶に向けて、安倍首相の地元だからからこそ頑張りたい。」と受入の挨拶をしました。ひきつづき、通し行進者の紹介と自己紹介を兼ねたスピーチが行われました。

●渡邊正郎さん(66歳)：沖縄・広島コース
東京都「沖縄から今日まで61日間元気に

行進し、私なりに核兵器の廃絶、原発再稼働反対、基地もない平和な日本を訴えてきた。広島まであと2週間、みなさんといっしょに元気よく歩きとおしたい」



●山崎勝治さん(69歳)：宮崎・広島コース

静岡県「宮崎県のえびの市から今日で25日目の行進。ご覧のように小さな体だが、みなさんといっしょに力いっぱい沿道のみなさんに呼びかけて頑張る。下関には弟がすんでいて、今日は弟のところ泊まる。」

●東郷利子さん：鹿児島～広島自主行進

鹿児島県「鹿児島県内を通し行進者として歩いて、ぜひとも広島まで歩きとおしたいとの思いで渡邊さんといっしょに行進してきた。皆さんの温かいサポートに心から感謝したい」

●横井霞さん(67歳)：山口県内通し行進者

下関市：「去年は広島から長崎まで平和行進を歩いた。今年は、山口県内を歩きとおしたい。なによりも明るく、楽しく、元気よくをモットーに沿道のみなさんにアピールしたい」

皆さんの挨拶をいただいたあと、3コースの先頭を行進してきた横断幕と各団体のリレー旗を引き継ぎました。

『引継式』の会場・唐戸公園では、顔見知りの方がお互いに笑顔であいさつを交わす姿があちこちで見受けられ、みんな笑顔の素敵な引継になりました。

(写真が間に合いませんでした・次号に掲載予定です。悪しからずご容赦を)

